

固定チームナーシング研究会 第16回東北地方会

大会長 高橋 美智子

(公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院)

固定チームナーシング研究会第16回東北地方会は、昨年コロナ禍により青森での開催を延期し、第15回開催の宮城からバトンを引き継ぎました。2020年明けからコロナウイルス感染症が日本で確認されてからいまだ終息が見えない状況の中で、今回も開催が危ぶまれましたが、西元先生、杉野先生はじめ関係者の方々のご尽力によりオンラインでの開催が実現できたこと、心より感謝を致します。また、この会を通し固定チームナーシングのネットワーク広がっていくことを大変期待するところです。

さて、今回のテーマは「責任と継続性のある看護～地域包括ケア時代を担う看護師育成～」としました。少子・高齢化の加速の中で、高齢者の独居や夫婦二人暮らし、認知症を抱えながら暮らしている状況において、私たちは地域包括ケアシステムの中で中核を担い、「医療」と「生活」の両方の視点を持つ大切な役割が求められています。そして今、地域では、コロナ禍で人々の生活に多大なる影響を及ぼし、いまもなお生活の制限を余儀なくされています。私たちは、これまで経験したことない環境の変化にも発展、進化を続けることも必要です。

今地方会が、参加者の皆さんにとって、有意義なものになりますことを願うとともに、患者中心の質の高い看護が提供され、固定チームナーシング発展の機会になれること願っております。

一日でも早く新型コロナウイルス感染症が終息し、また、会場で皆様とお会いできることを楽しみにしています。